

弦楽五重奏で聴く

J.S.バッハ

ゴルトベルク変奏曲

[松原勝也編]

JOHANN SEBASTIAN BACH
GOLDBERG VARIATIONS BWV988
arranged for string quintet by Katsuya Matsubara

静的にして饒舌な音楽の時間がここに。

松原勝也 (第1ヴァイオリン)

Katsuya Matsubara, 1st violin

山崎貴子 (第2ヴァイオリン)

Takako Yamasaki, 2nd violin

柳瀬省太 (ヴィオラ)

Shota Yanase, viola

菊地知也 (チェロ)

Tomoya Kikuchi, cello

吉田 秀 (コントラバス)

Shu Yoshida, contrabass

J.S. バッハ (松原勝也編) : プレリュードとフーガ ハ短調 BWV546 | 弦楽五重奏版 |

Johann Sebastian Bach: Prelude and Fugue in c minor BWV546, arranged for string quintet by Katsuya Matsubara

J.S. バッハ (松原勝也編) : ゴルトベルク変奏曲 BWV988 | 弦楽五重奏版 |

Johann Sebastian Bach: Goldberg Variations BWV988, arranged for string quintet by Katsuya Matsubara

2014年1月7日(火)19時開演
津田ホール

(JR 千駄ヶ谷駅南口・都営大江戸線国立競技場駅 A4 出口 / 駐車場はご利用いただけません)

全席指定: 一般4,000円 / 学生2,000円

◎チケットお取扱い: 津田ホールチケットセンター 03-5355-1299

津田ホールオンラインチケットサービス http://tsudahall.com/

◎お問合せ: 津田ホール 03-3402-1851

主催: 津田ホール マネジメント: ミリオンコンサート協会



《ゴルトベルク変奏曲》31回+αの変奏へ

ひとつの素朴すぎるアリアが、同じだけど、でもまるで違う顔に30回も変容し、なにもなかったかのようにもとの姿へと戻って行く楽興の時、何度経験しても、《ゴルトベルク変奏曲》と過ごす1時間と少しは、人生のなかでも際立って不思議な時間だ。同じにして多彩、無限の多くを語りながらもひとつのこどだけを吹き続ける饒舌の言葉。

この楽譜に詰まった言葉は、数多くの音楽家達を刺激するらしい。鍵盤奏者ではない者にも、自分に使える言葉がこの時間に浸りたいと思わせる何かがあるようだ。松原勝也は弦楽器奏者である。基本的に、ひとつの線を操る専門家だ。そして、室内楽の達人でもある。複数の弦楽器が出会うことでどんなことが為し得るか、誰よりもよく知っている。

渡辺 和(音楽ジャーナリスト)

弦楽四重奏にコントラバスが加わる松原版は、「鍵盤用譜面の弦楽五重奏への編曲」ではない。バッハの頭の中で響いていたであろう音楽を、松原が自分の頭の中でもう一度響かせ、それを弦楽器5つで表現したものだ。最初はいつもの愛らしいアリアの顔をしながら、線の絡みがだんだんと違う風貌を呈し始め、ソロの掛け合いのような大技やら、アッと驚く響きまで振り撒き、やがて馴染みの静けさへと戻って行く。バッハの楽譜を前に、松原の知性とパッションが渡ぎを削る、静的にして饒舌な音楽の時間がここにある。

好きだろが嫌いだろがかわらない、バッハの《ゴルトベルク変奏曲》の30回の変奏を少しで「面白い」と感じたならば、その先に続くもう30回の変奏を聴いて損はありません。

松原勝也 (第1ヴァイオリン)
Katsuya Matsubara, 1st violin



東京藝術大学在学中に安宅賞受賞。同大学院修士課程修了。クワイアラー国際コンクール等で入賞。新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターなどを歴任。無伴奏ソリタールシリーズ、ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏、武満徹室内楽作品全曲演奏、即興演奏、ジャズミュージシャンとのコラボレーションなど極めて幅広い演奏活動を展開。2007年ロンドン・ウィグモアホールでリサイタルを開催。津田ホールスペシャル「松原勝也+プラス」、北九州響ホールのフェスティバル、2001〜10年若い演奏家のためのアドヴェンチャー・セミナー(第一生命ホール)などをプロデュース。ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ、霧島国際音楽祭などでの教育活動にも携わる。第17回中島健康音楽賞受賞。第55回文化庁芸術祭新人賞受賞。静岡AOIL・ジダンスクールレットメンバー、OMURA室内合奏団アーティストック・アドバイザー、東京藝術大学音楽学部教授。

山崎貴子 (第2ヴァイオリン)
Takako Yamasaki, 2nd violin



東京藝術大学、同大学院修士課程を修了。ヴィンタートゥーア・チューリッヒ音楽大学に留学しソリスト・ディプロマを取得。その後ロンドンに拠点を移し、約8年に及ぶ留学の後、2004年に帰国。第5回日本室内楽コンクール(デュオ部門)第1位及び東京都知事賞受賞。第28回ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクール、第19回ヴィットーリオ・グイ国際室内楽コンクール(デュオ部門)において、いずれも日本人初の第1位受賞。第45回バダヨニー二重奏国際ヴァイオリンコンクールで第3位を受賞するなど、国内外のコンクールにて数々の賞歴を重ねる。音楽に対する真摯な姿勢と豊かな表現力は常に高い評価を得ている。現在、東京藝術大学および同大学附属音楽高校非常勤講師。紀尾井シンフォニエッタ東京、Quartet Animaメンバー。

柳瀬省太 (ヴィオラ)
Shota Yanase, viola



5歳よりヴァイオリンを始める。第41回全日本学生音楽コンクール西日本大会高校の部第2位。18歳よりヴァイオリンを始め、東京藝術大学、桐朋学園に学ぶ。1996年第52回ジュネーブ国際音楽コンクールデュオ部門、97年第1回浜路島しづかホールヴァイオリンコンクール優勝。2002年イタリアに留学。04年〜09年、シュトゥットガルト州立歌劇管弦楽団、09年4月より神内川(フィルハーモニー)管弦楽団首席奏者。スリング・クワルテットARCO、サイトウキネ子オーケストラのメンバー。宮崎、北九州などの音楽祭、チェリストのマリオ・ブルネロ主宰のオーケストラ・ダルク・イタリアーナへの参加。また、さいたまアーツシアターカナルテットではベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲演奏会を行った。第1回松方ホール音楽賞、大阪文化祭賞を受賞。

菊地知也 (チェロ)
Tomoya Kikuchi, cello

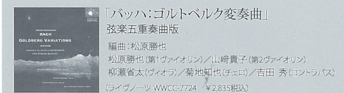


東京藝術大学附属高校を経て同大学卒業。第6、8回霧島国際音楽祭にて奨励賞受賞。東京藝術大学にて安宅賞受賞。第60回日本音楽コンクール第1位。併せて増沢賞、特別賞受賞。第4回日本室内楽コンクール第1位。併せて東京都知事賞受賞。第1回全日本ビバ(ホール・チェロ)コンクール第1位。霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭等に参加。現在、紀尾井シンフォニエッタ東京、アンサンブル・ノマド、パロク21、アンサンブル・ココのメンバー。日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・チェリスト。桐朋学園大学、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。

吉田 秀 (コントラバス)
Shu Yoshida, contrabass



東京藝術大学音楽学部卒業。同大学管弦楽研究部首席奏者を経て1991年NHK交響楽団に入団。現在首席奏者を務める。室内楽の分野ではオーギュスタン・デュメイ、ピンカス・ズッカーマン、ライナー・キューヒル、マリア・ジョアン・ピリス、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、カルミナ弦楽四重奏団、ベルリンフィルハーモニー四重奏団、ターリッシュ弦楽四重奏団、メロス弦楽四重奏団、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団、ウィーン弦楽トリオなどと共演。またオロスアンサンブル、アール・レスピラン、東京シンフォニエッタ、いずみシンフォニエッタ大阪、紀尾井シンフォニエッタ東京、鎌倉・リステンなどのメンバーとしても活動。霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭などにも参加。東京音楽大学客員教授。京都国立芸術大学非常勤講師を務める。



【お問合せ】
津田ホール TEL:03-3402-1851 FAX:03-3402-7901
e-mail info@tsudahall.com URL http://tsudahall.com/
〒151-0053 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24

【チケットお取扱い】
津田ホールチケットセンター 03-5355-1299
チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 211-335)
CNプレイガイド 0570-08-9990
東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650
ミリオンコンサート協会 03-3501-5638